

令和8年8月26日(水)



旭中学校だより

＜学校の教育目標＞

- 学び続ける生徒
- 思いやりのある生徒
- やりぬく生徒
- たくましい生徒

3年生は背中で語り、1・2年生はその背中を受け継いで

校長 久米達夫

長い夏休みが終わり、静かだった校舎内に生徒たちの元気な声とともに活気が溢れるようになりました。旭中学校の2学期がスタートしました！朝、玄関の外に出て、生徒たちとあいさつするとき、私も自然と笑顔になり、私自身が「元気をもらえている」実感がわきます。長丁場の2学期ですが、生徒たちの笑顔が溢れる学校、そして生徒一人ひとりが、夢や希望を語り合える学校を目指し、「共に学び 共に認め 共に高め合う」生徒の育成に邁進してまいります。

この夏休み中には、いくつかの部活動や地域クラブでの活躍がありました。バドミントン部女子ダブルス、そして地域中学生野球クラブのブルータスとFC余市(サッカー)が全道大会の舞台に立ちました。惜しくも勝利を手にすることはできませんでしたが、日々の努力と挑戦の姿勢は、素晴らしいものでした。また、吹奏楽部は札幌地区吹奏楽コンクールに参加しました。夏休み中は暑さの中、集中力を切らさず目標達成に向けて一生懸命練習に取り組んだ成果(銀賞)を出してくれました。1・2年生は、3年生の最後の大会・コンクールにかける思い、そして懸命に練習や試合に臨む姿を見て、「来年は、自分たちの番」という思いを強くしたと思います。

2学期は、10月2日(金)に旭中祭、そして3年生にとっては進路決定という、大きな節目の学期となります。進路決定に向けては、学力テスト総合A・B・C、期末テスト、そして三者面談を経て、自分の進むべき道を明確にしていきます。

最後の旭中祭に向けて、3年生に1つお願いがあります。「自分たちだけが楽しむだけの3年生ではなく、3年生一人ひとりの背中で後輩を引っ張る3年生になってください。」

旭中祭に向けて一生懸命取り組む姿。仲間を大切にする姿。苦しいことから逃げずに努力を重ねる姿。そんな3年生の背中を、1・2年生は必ず見えています。3年生は背中で、1・2年生はその背中を受け継いで。全員(全校生徒・教職員・保護者・地域)で、気持ちのよい2学期を作っていきましょう。